

ツーリズムを体験して  
～子ども達の声～

- 迎え入れてくださった農家の方がとても優しく、温かい家庭でした。受け入れ家庭のお父さんやお母さんとたくさんお話が出来て良かったです。
- 自分たちで竹を切って、食器を作り、それでご飯を食べたのが嬉しかったです。



- よその土地から来た、見ず知らずの私たちが快く受け入れてくれた、受け入れ家庭の方々の優しさに驚きました。
- 志布志市の人たちはとっても優しく温かったです。体験の中で、自分たちで「サトイモ」を収穫して、洗い、調理して食べました。大阪で食べるサトイモとはまるで味が違うような気がして、「サトイモってこんなに美味しかったの?」と思いました。短い時間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。またいつか遊びに来たいです。



この研修では「農家民宿をしたい」という思いを持っていけば、許可を取得することは昔のように難しくありません。特に改修などを行っていない普通の家でも、簡単に取得できます」などのお話を伺うことができました。

参加者は楽しそうに活動する方々の意見を聴いて、「自分たちも頑張つて、農家民宿の許可を取ろう」と意気込み、自主勉強会を始め、協議会では許可取得のための経費の一部を助成する支援を行いました。

その結果、平成24年12月末、8軒の農家の方が「農家民宿の営業許可」を取得することができました。

一般のホテルや旅館とは異なり、お客様気分というよりも、まるで自



営業許可を取得しました!

皆様も、お知り合いの方が志布志市を訪れる際には、ぜひご利用ください。

分の実家に帰って来て家族と一緒に生活をしているような、懐かしい感覚を味わうことができます。

ついに発展させるために

修学旅行生の農家民泊を受け入れるに当たり、生徒に何を学んで欲しいかという「学習テーマ」はとても重要です。特に志布志市の取り組みの中でも、環境政策は「環境にやさしいかどうか」を行動基準とし、市民一丸となって取り組んでいる、世界に認められた日本トップレベルの政策です。今後更に関係機関と連携し、志布志市を訪れた学生に「環境学習」の大切さを知ってもらい、地球環境保全を考えるきっかけとなる体験プログラム作りを行い、それを学習テーマの中心にしたいと考えています。

また、一般の家族連れやグループなどの方々にも、「志布志市に来て、こんなに温かい人たちと交流が出来て本当に良かった」と感じていただき、何度でも訪れたいくなるような「志

布志市のファン」をどんどん増やしていければと考えています。

ツーリズムがきっかけとなり、志布志市に興味を持ってもらうことで、その後の交流人口が増え、農林水産物等の販売量増加や商店街の活性化にもつながり、最終的には定住人口の増加にもつながると期待しています。

『志』ツーリズム協議会では、一緒に活動に取り組む仲間を募集しています。

ツーリズム活動は、人との交流が好きでな方であれば、どんな方でもすぐに取り組むことができます。今こそ市民一丸となって、海、山、川の大自然、歴史や文化資源も豊富にある志布志市の良さを、市外の方々にアピールしていきましょう。

■ 問い合わせ先…農政課 農政係  
TEL: 474-1111 (428)



中学生モニターツアー

安が少なくなりそうです。これまでに、地元の小・中学生を対象に2回のモニターツアーを実施しました。

● 食品衛生講習・安全講習会の受講

鹿児島県は農山漁村生活体験学習(修学旅行を含む)の受け入れについて、いくつか共通のきまりごとを定めています。

その中の一つとして、1年に1回以上、受け入れ家庭は食品衛生や安全対策講習を受講するように定めています。

日帰り体験ツアーの実施

ツーリズム協議会では、修学旅行生の受け入れの他にも、志布志市の「美味しい食の魅力」と「体験の楽しさ」を組み合わせた日帰り体験ツアーを企画・実施しています。

ツーリズムに取り組んで



『志』ツーリズム協議会 副会長  
又木 智子さん(59)

10月には、協議会員である有明芝用地域の「そば処ちんたら庵」メンバーが中心となり「美味しいそば打ち体験と楽しいイモ掘り体験日帰りツアー」を実施しました。

県内外各地から集まった参加者は、大人も子供も一緒になってそばを打つなど、童心にかえって楽しんでいました。そば打ちは実際に体験してみるととても難しく苦戦していましたが、自分たちで作ったということで美味しさが倍増したようでした。また「イモ掘りは幼児の頃に経験した以来です」という方もいて懐かしがりながら楽しそうにたくさん掘っていました。

鹿児島市から参加された方は「同じ県内にいながら、なかなか志布志市に足を運ぶ機会がなかったため、今回はとても良かった。志布志市は素晴らしい場所があり、美味しい食



おいしいそばが出来ました!

べ物があり、人柄も温かい。こういうツアーをきっかけにいろいろな人にも志布志の魅力が伝わると良いですね」と感想を述べられていました。

協議会では今後も「食」と「体験」を組み合わせた日帰りツアーを企画・実施していき、市内外の皆さ

志布志市の「農家民宿」が誕生するまで

平成24年4月、協議会では伊佐市とさつま町へ先進地研修に行きました。どちらの地域も、数軒の農家がまとまって「農家民宿」の許可を得られ、修学旅行生の受け入れだけでなく、一般の家族連れやグループの宿泊受け入れを行ったり、日帰り体

人に志布志を満喫してもらおうきっかけ作りをしたいと思っています。

「農家民宿」とは?

「農家民宿」(正式名称は「農林漁業体験民宿」とは、新しい宿泊施設の形態です。これは、農林漁業を営む家庭が県の許可を取得して、自宅の一部や離れで、一般の方々に農林漁業体験を提供し、宿泊させることができます。

私はキク農家です。人との触れ合いがとても好きで、長い間「からいも交流」の海外留学生受け入れや、農業高校生、農業大学生の実習受け入れも行っています。その延長で、都会の子どもの農業体験受け入れは、ほぼ抵抗がありませんでしたが、都会の子が農業体験や田舎の生活を喜んでくれるのかが不安でした。

初めての受け入れの際はとても緊張しましたが、純粋な子どもたちと触れ合い、一緒に生活をする、帰った後には「受け入れて本当に良かった。またぜひ受け入れたい」という充実感と喜びを感じました。

私はこれからも田舎の生活体験を希望する人がいる限り、受け入れをずっと続けていきたいと思っています。